

## お年寄りや子どもたちなど、地域の皆さまが安心して暮らせるやさしい社会づくりに貢献します

### 地域団体が取り組む次世代育成支援活動を助成しています

「九電みらい財団」では、九州の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの団体が取り組む次世代育成支援活動への助成事業を行っています。

2018年度は、22件の活動に対し、総額約1,400万円の助成を行いました。

#### 助成団体のご紹介(いとしま手伝い隊)

「いとしま手伝い隊」は、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目的に、福岡県糸島市で「いとしまこども食堂～ほっこり～」を毎月運営しています。

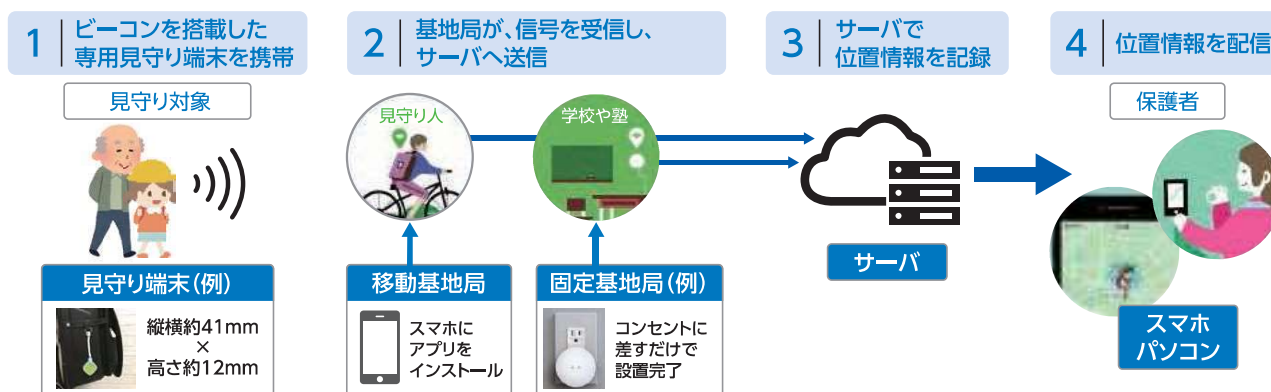
子どもから高齢者までが一緒に食事をするだけでなく、勉強や合唱も行うなど、地域ぐるみで多世代交流や学習支援を実施。心もお腹もやささでいっぱいにするこの活動は、地域の方々に愛され、地域に根付いた活動になっています。



料理を通じた多世代交流

### IoT技術を活用したお年寄りや子どもの見守りサービスを提供しています

九電グループのイノベーションプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」から生まれた新しい見守りサービス「Qottaby(キューオッタバイ)」を、福岡市内の小学校を中心に提供しています。このサービスは、ビーコン(電波発信機)を搭載した専用見守り端末を携帯する小学生や高齢者などの位置情報を、保護者の方などがスマートフォンやパソコンで確認することが出来るものです。



### 離島医療を支援しています

グループ会社の西日本空輸(株)では、自社のヘリコプター事業で培った強みを活かし、大小多くの離島を抱える長崎県で、長崎離島医師搬送システム(NIMAS)事業に参画。移動手段に制約の多い離島医療に従事する医師に対して移動手段を提供することで、離島医療を支援しています。

また、同社は、九州内5県でドクターヘリ事業にも参画。消防機関等からの出動要請に基づき、重篤患者が発生した現場に医師を迅速に送り込み、救命医療を支援しています。



救命医療専用のヘリコプター「ドクターヘリ」

## 当社グループの技術力を活かして、 安全で、災害にも強いまちづくりに取り組みます

感電事故を発生させないため、  
電力設備への接触防止対策等の安全対策を徹底しています



昇塔防止装置



注意喚起標識

- 鉄塔への昇塔防止や発電所・変電所への侵入防止  
(昇塔防止装置や外柵、注意喚起標識を設置)
- クレーン車等の重機や釣竿などの送電線への接触防止  
(河川横断部などに注意喚起標識を設置)

## 無電柱化の推進により、 災害に強い街づくりに貢献します

2018年12月、近年の災害の激甚化を受けて「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が閣議決定され、緊急輸送道路約1,000kmにおいて無電柱化を進める方針が提示されました。

当社は、九州における整備目標107kmの達成に向け、取組みを進めています。



[無電柱化前]



[無電柱化後]

## 完全自己処理型水洗トイレで、 被災地の復旧支援に貢献しています

グループ会社のニシム電子工業(株)は、完全自己処理型水洗トイレ「トワイレ」を提供しています。

水道や電気などのライフラインを必要とせず、汲み取りも不要という特性を活かし、「平成29年九州北部豪雨」や「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」の際には、被災地の復旧支援として貸し出しを行い、多くの方にご利用いただきました。



「平成30年7月豪雨」の際に被災地に設置した「トワイレ」

## 防災機能を備えたLED街路灯「道しるべ灯」を寄贈しました

2019年2月、当社日向配電事業所は、宮崎県日向市と同県門川町に、昼間に光エネルギーを蓄えて夜間に発光する蓄光塗料を塗布したLED街路灯「道しるべ灯」を寄贈しました。

これは、同事業所とグループ会社の誠新産業(株)が共同開発したもので、停電などで周囲が暗闇に包まれた状態でも、およそ10時間ほのかに光を放つことができ、災害発生時の避難経路や避難場所の目印としての活用が期待されます。



贈呈式



夜間発光の様子